

SAKURA ネット

令和2年2月28日

有終の美を飾ろう

「『有終の美を飾る』とは、最後までやりとげ、立派な成果をあげること」とありました。いよいよ一年間のまとめの時期となりました。

3年生は、県立特別入試の内定者の発表がありました。これで、私立高校専願の人と県立特別入試内定の方は進路が決定したことになり、残すのは県立一般入試となりました。気力を充実させ、最後までやりとげ、成果をあげて欲しいと願っています。

3月13日(金)には、卒業式があります。皆さんは、自分ひとりでここまで成長したわけではありません。ここまで育ててくれた家族へ、今までお世話になった方々へ、ともに切磋琢磨してきた友へ感謝しながら卒業式に臨んでほしいと思います。

また、1、2年生には、3年生が残してくれた伝統を引き継ぎ、勝山中学校をさらに素晴らしい学校に発展させてくれることを期待しています。

学校の一年間も間もなく終わります。一年のまとめの月となり、新年度への決意を固める月でもあります。一日一日は長いと感じることもありますが、一年間はとても短く感じるものです。きっと3年生は、中学校の3年間は、とても早く過ぎ去ったと感じているのではないかと思います。

保護者の方も、同じように感じておられるのではないのでしょうか。過ぎてしまった月日は戻ってきませんから、これからの日々、また、今日のこの日を大切に過ごしていきたいものです。本年度は「自ら考え、正しく判断し行動できる生徒」、「夢や目標をもち、進んで学習する生徒」、「仲間を信頼し、感謝の気持ちが表現できる生徒」の育成をめざして、基礎基本の定着と充実を図ることを重点に、教育活動を展開してまいりました。

生徒一人ひとりに目を向けてみますと、ほとんどの生徒が規律を守ろうとする気持ちや人を思いやる気持ちを大切にして生活することができました。この一年間を通して、落ち着いて生活ができるようになり、授業に集中できるようになった生徒が多く見られました。今後も、生徒達が楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、さらに努力をしなければならないと考えております。

今年度お寄せくださいました地域の皆様方や保護者の皆様方からの心温まるご協力と力強いご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



【優良賞】

「私のひいおばあちゃん」

1年 山本 日葵

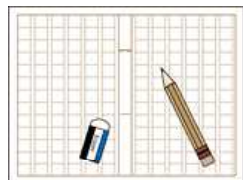
私は、認知症の人に対して優しく接することが大切だという主張をします。私は認知症になると、何もできなくなると決めつけてはいけないと思います。認知症にもいろいろな種類があるからです。だから、その症状にあわせていろいろな対応をして、優しく接するといいと思います。なぜなら、認知症でも人は人です。誰だって厳しい口調で話しかけられたり、怒られたりしたら、嫌な気持ちになると思います。だから、どんなにイラついても、怒ったり厳しい口調で話しかけたりしてはいけないと思います。それと、認知症だからといって何もできないと思いきむのはよくないと思います。認知症の人でもできることはたくさんあるからです。

実際、私のひいおばあちゃんも認知症でしたが、できることはたくさんありました。私のひいおばあちゃんの場合は、物忘れはあまりひどくありませんでした。孫やひ孫の名前だって全員覚えていました。私のひいおばあちゃんは幻覚がみえていました。レビィー小体型認知症というそうです。

当時保育園児だった私は、意味がわからず、ただひいおばあちゃんが、「何かがいる。何かが見える。」と言うたびに怖がってしまい、つい、「何もおらんが。」と、きつい口調で怒ってしまいました。私が怒ると、お母さんかおばあちゃん、またはその両方からほぼ毎回、「そんなことひいおばあちゃんに言ったらいけん。」と怒られていました。当時の私は意味がよくわかりませんでした。ときどき、「何かがいる。」と言っているひいおばあちゃんを怖いと感じてしまったこともあります。でもふつうに会話だってできています。ただ、ときどき意味がわからないことを言いだしたり、幻覚がみえたりしていることがありました。

私はその体験を、2学期にあった道徳のときに思い出しました。「ちがいのちがい」という授業を何時間か行ったのですが、その中で認知症の人についての学習がありました。そこで認知症の人との関わり方を学んで、自分の関わり方を後悔しました。ひいおばあちゃんが亡くなったのは私が小学1年生のときです。そのころの私も厳しい口調で怒ってしまうことがけっこうありました。そして、あとになってあのときもっと優しく話せていたらと思って後悔しました。今でも後悔しています。

だから、みなさんは私みたいににならないように優しく接してください。一緒にいたら疲れたり、ストレスがたまってきたり、厳しく当たってしまったたりすることがあるかもしれません。でも、そのときは気分転換などをしてみてください。私もひいおばあちゃんとできることを一緒にやってみたりしました。そのときのひいおばあちゃんはとても楽しそうでした。ひいおばあちゃんの昔話を相づちを打ちながら聞いたりしていました。



何でもかんでも否定しないでゆっくりうなずいて聞いてあげるのがいいと思います。否定されると、いらぬ者あつかいをされているように感じると思うからです。また、認知症についての正しい知識を身につけることが大切です。そして、認知症の人たちに優しく、おだやかな気持ちで接し、できることを一緒にやってみるといいと思います。



エスパスホールで発表する山本さん

【優良賞】

「ことばのもつ力」

2年 太田 千晴

私たちは毎日、様々なことばを遣って話したり、あいさつをしたり勉強をしたりしています。今日もみなさん一人一人がそれぞれの言葉で自分の伝えたいことを主張していますよね。言葉は”私”を周りに伝える1つの手段です。声が出なくても、文字でも、手話でも私たちはみんな、「自分」という存在を認めてもらい、考えを伝えるため言葉を使います。

しかし言葉は、1つ使い方をまちがえると人を傷つけるものになってしまいます。例えば最近よくある、SNSでのいじめは言葉の暴力によるものが多いです。顔が見えないから何を言っても大丈夫だと思っている人もかもしれませんが、文字にした言葉は一生残ります。そして直接言われるよりも相手の心に深くささることがあります。私自身がこのような経験をしたことはありませんが、SNSのコメント欄に、「うざい、きもい」とか、「消えろ、死ね」などの言葉がたくさんかいてあったのを見たことがあります。このような、マイナスな言葉は、聞いた人、見た人をとていやな気持ちにさせてしまいます。そして、マイナスな言葉は、どんな暴力よりも、相手にとって、つらく苦しいものになってしまうことがあります。だから、人を言葉で批判したり、傷つけようとしている人は、相手がどう思うか、もし自分が言われたらどう思うかをしっかり考えることが大切です。



エスパスホールで発表する太田さん

でも、私たちは、マイナスな言葉も言うてしまうけれど、反対のプラスな言葉もたくさん言っていると思います。プラスな言葉は、自分が言われたら、幸せになる言葉です。

「ありがとう、うれしかった」「頑張れ！信じているよ」

このような言葉は誰でも、言われたらうれしいと思います。そしてこんな言葉をいつも人に言える人のまわりには、たくさんの友達がいると思います。

私が、つらく苦しく、めげてしまったとき友達や家族は励ましてくれます。前向きに、時には共感してくれて、後ろから背中をおしてくれるような言葉は私に強いパワーをくれます。

だから、言葉は人を傷つけてしまう、けれど、その傷ついた人を救うことだってできるのです。

もし、今私、マイナスな言葉ばかり言っているな、と思った人は「めんどくさい」という言葉を「やってみよう」に変えてみて下さい。「ほっとこうや」という言葉を「大丈夫」に変えてみて下さい。マイナスな言葉をプラスな言葉におきかえる、そうすればきっとそれがつみ重なって周りの人を幸せにできるでしょう。

言葉にはたくさんのパワーがあります。あなたの言葉1つがそばにいる大切な人を救えるかもしれないし、顔を合わせたことがない人を幸せにだって出来るし、争いのきっかけになるかもしれない。言葉のパワーは、私たちが思っているより、ずっとずっと強いです。そんな最強の武器の長所を最大限に生かせるような言葉をこのあと1つでもいいので、誰かに言ってみてください。そして、人から幸せをもらった人は、もっといい言葉をまた別の友達に言ってみてください。

そんな人がもっと増え、たくさんの幸せの言葉があふれるような世界こそ、誰にとっても幸せな世界と言えるのではないのでしょうか。

3月の行事予定

日曜	学校行事など	部活	Sバス	給食
1 日				
2 月	3年直前テスト	×	16:25	○
3 火	1、2年学年末テスト	×	13:30 16:25	○12:20
4 水	1、2年学年末テスト	×	13:30 16:25	○12:20
5 木	1、2年学年末テスト PTA 合同部会 19:00	○	16:25 18:20	○
6 金	専門員会	○	16:25 18:20	○12:20
7 土				
8 日				
9 月	生徒集会	○	13:30 16:25 18:20	○12:20
10 火	県立一般入試	○	16:25 18:20	○
11 水	県立一般入試	○	16:25 18:20	○
12 木	卒業式予行 3年4校時	○	13:30 16:25	○12:20
13 金	卒業証書授与式 (9:15 開式) ※1、2年のみ給食	×	13:30	○12:20
14 土				
15 日				
16 月		○	16:25	○
17 火		×	13:30	○12:20
18 水		○	16:25	○
19 木		○	16:25	○
20 金	春分の日			
21 土				
22 日				
23 月		○	16:25	○
24 火		○	16:25	○
25 水	大掃除	○	16:25	○
26 木	修了式	×	10:50	×
27 金				
28 土				
29 日				
30 月				
31 火				

4月の主な行事予定

- 4/7 着任式 始業式
- 4/8 入学式 (弁当)
- 4/10 退任式 たしかめテスト (1年)
- 4/14 新入生オリエンテーション
- 4/15 内科検診
- 4/16 全国・県学力・学習状況調査
- 4/21 2年校外学習
- 4/22 ~ 4/23 1年渋川海事研修
- 4/23 ~ 4/25 3年修学旅行
- 5/1 参観日、PTA 総会



自分らしく生きる

人生にはいろいろな分かれ道があります。どんな進路が自分に合っているかは、実際にその道を進んでみないとわからないことかもしれません。だから、その時その時の選択には迷いもあるかもしれません。けれども、どういう選択をしたとしても、その道で生きていくのは自分です。自分の求める道を探っていきましょう。

「卒業」は、別れであるとともに、新しい道の始まりでもあります。新しい道を歩き始める皆さんを応援しています。

そして、皆さんがどういう道を行っても、その道で生き生きと「自分らしく」生きていってくれることを心から願っています。

